

三原市の学校給食を考える会 様
第2回 お茶会

学校給食に関する
話題提供

2017.9.29

広島県環境保全アドバイザー
広島県地球温暖化防止活動推進員
三原市議会議員(是々非々の会)
安藤志保

自己紹介

- 1998年 ネットワーク『地球村』高木善之さんを招き講演会
- 1998年～現在 「環境・平和・命」をテーマに市民活動団体発足
- 2000年～現在 広島県環境保全アドバイザー
- 2001年～2012年 エフエムおのみちで「そぼくなエコ」担当
- 2002年 ヨハネスブルグ地球サミットに参加
- 2003年 広島県内80市町村議会に対し「政府に『イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書』提出を求める陳情」
- 2004年～現在 三原やっさ祭り「ゴミへらし隊エコレンジャー委員会」
- 2004年～現在 広島県地球温暖化防止活動推進員
- 2005年～2006年 広島県「環の応援団サポーター養成支援事業」講師
- 2007年 「豪快な号外」配布 広島県リーダー
- 2009年 アマゾンの森林破壊、アグロフォレストリー視察、植林参加
- 2012年 「みんなのエネルギー・環境会議 広島」主催
- 2012年～2015年 広島連塾Sus☆テラス代表

今日の内容

【序】

- (1) 第1回お茶会(5/25)
- (2) 理想の学校給食(他市の例)
- (3) 理想の学校給食(三原市として)

【破】

- (4) 「食」への自分の関心を考える
- (5) 活動ビジョン
- (6) ビジョンの作り方

【急】

- (7) 「三原市の学校給食を考える会」として、何をする？
- (8) 例えば・・・
- (9) おまけ(相手が自分の意見に賛成でない時の対応シート)

(1) 第1回お茶会(5月25日)

- 世界の学校給食
- 日本の学校給食の歴史
- 学校給食とは(法制度から)
- 三原市の学校給食の取り組み
- 他市の事例
- ご質問・ご意見

『心配していたけど、
三原市、意外とがんばってるかも?』

(2) 理想の学校給食：足立区の例 残菜率の多さから

- 「日本一おいしい給食」を政策目標に！
- おいしい給食委員会（教育委員会内）
- 天然だし、地場もの
- 食べさせようとする雰囲気づくり
- 「スーパー給食」（超人シェフ倶楽部）
- 庁舎レストランで学校給食メニューを提供
学校給食から発展して
- 区内野菜市場と「あだちベジタベライフ」協定
→ 食の健康応援店パンフレット

(2) 理想の学校給食：置戸町の例 「給食の母」管理栄養士から

- 「こども達は、みんな家族」
- 本物の味で味覚形成
- 手間をかけて予算の壁を乗り越える
- 地元の旬の食材
- 100%道産小麦のパン
- 魚は骨があるもの、カレーは辛いもの・・・
- 「おいしい」には、いろんな種類がある
- NHKの「プロフェッショナル仕事の流儀」に
- 全国へ講演に

(2) 理想の学校給食：佐倉市の例 地元学の視点から

佐倉市の学校給食をご紹介します。

佐倉市の給食は、すべての小中学校に給食施設を設け、学校ごとに配置された栄養教諭または学校栄養職員が献立を作成し、あたたかくおいしい給食を調理、提供していることが大きな特徴です。

こうした取り組みは、安全でバランスのよい給食を提供することにもなり、児童・生徒の健康の保持増進のために、大きな役割を担っています。

また、献立に地元で取れたばかりの農産物を取り入れ、津田仙やクララ・ホイットニーなど、郷土にゆかりのある人物の業績に基づいた献立を提供することで、給食を通じた食育の推進にも積極的に取り組んでいます。

■ 学校給食の役割

学校給食は、昭和29年に児童及び生徒の心身の健全な発達、国民の食生活の改善に資する目的で「学校給食法」が制定されたことにより、本格的に始まりました。

学校給食は、終戦直後の子どもたちへの栄養補給に大いに貢献し、戦後日本の経済復興のために大きな役割を果たしました。

しかし、近年、ライフスタイルの多様化により、食生活は大きく変化し、かたよった栄養摂取や食生活の乱れによる肥満や、過度の痩身、「食」の安全に対する信頼のゆらぎや日本の食文化の継承の危機など、様々な問題が生じるようになりました。

このため、平成17年に国民の健全な食生活の実現を目指し、食育基本法が制定されました。この法に基づき、具体的な推進方策として「食育推進基本計画」が策定され、この計画の中で、学校における食に関する指導の充実や、食育の「生きた教材」となる学校給食の充実等が掲げられています。

(3)理想の学校給食：三原市として

何をどこまで求めるか？

- 地産地消
- 食の安全性と健康
- 栄養と健康
- 美味しさ
- 食育(知識：食への理解を深める)
- 食育(体験：生産者との交流など)
- etc.

本日の会でいただいたご意見

- 作ってる人が見える
- 調味料の質(本物を使ってほしい)
- 委託は調理のみ。材料(調味料含む)発注は市がしており、民間委託になったことによる食材の質低下はないと市説明
- 良い給食と金額のバランス
- 良い給食が市としてのアピールになるのではないか

(4)「食」への自分の関心を考える

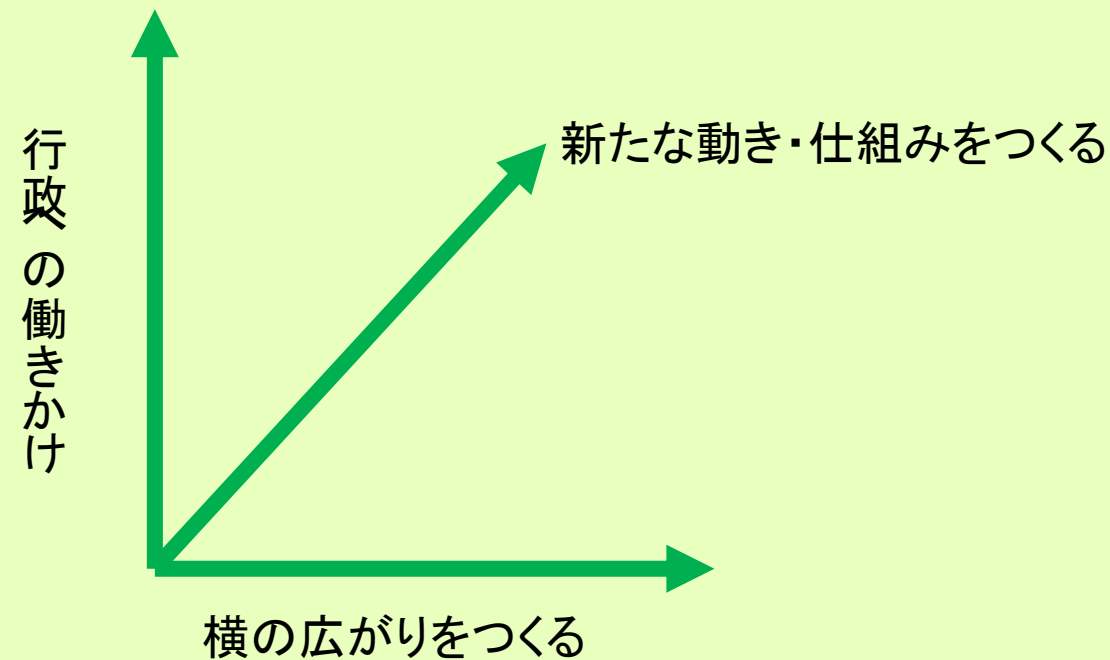
- 自分の関心の範囲はどのへんまで？

自家 分族	友 達	学 校	ま ち	日 本	世 界
----------	--------	--------	--------	--------	--------

- 自分の行動の範囲はどのへんまで？

(4)「食」への関心

- 他者に働きかけるとしたら・・・



(5) 活動ビジョン

ビジョンとは・・・

- 方向性
- 到達したい地点
- 進んでいくための目印
- 進んでいくための原動力

例えば・・・

- 人生のビジョン
- 2時間後のビジョン

(5) 活動ビジョン：ネットワーク『みどりのはらっぱ』2006年



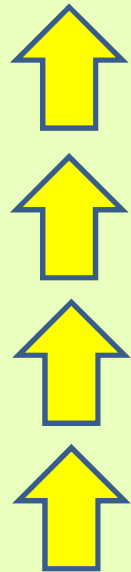


(5) 活動ビジョン：かんきょう会議 浮城

- 自然豊かで美しく、
- 安心でおいしい地域の食材にあふれ、
- 『もったいない』と物を大切に、
- 子どもたちはのびのび・すくすく育ち、
- 人も自然も、生き活きと！

(6) ビジョンの作り方

フォアキャスティング
(近くの目標／ビジョン)



今

現状立脚
技術、資金、周囲の理解etc.
考慮して考える

バックキャスティング
(遠くの目標／ビジョン)



現在の延長線上で
はない未来を創出

今

目指す未来のため
に、今、何をやるか

(7) 学校給食を考える会として・・・

- 当面の目標

ビジョン実現に向けて、誰に対して、どんな働きかけをしたら良いか、有機農家の収穫祭(10/29)の機会に、調査ができると良いのかなと思いました

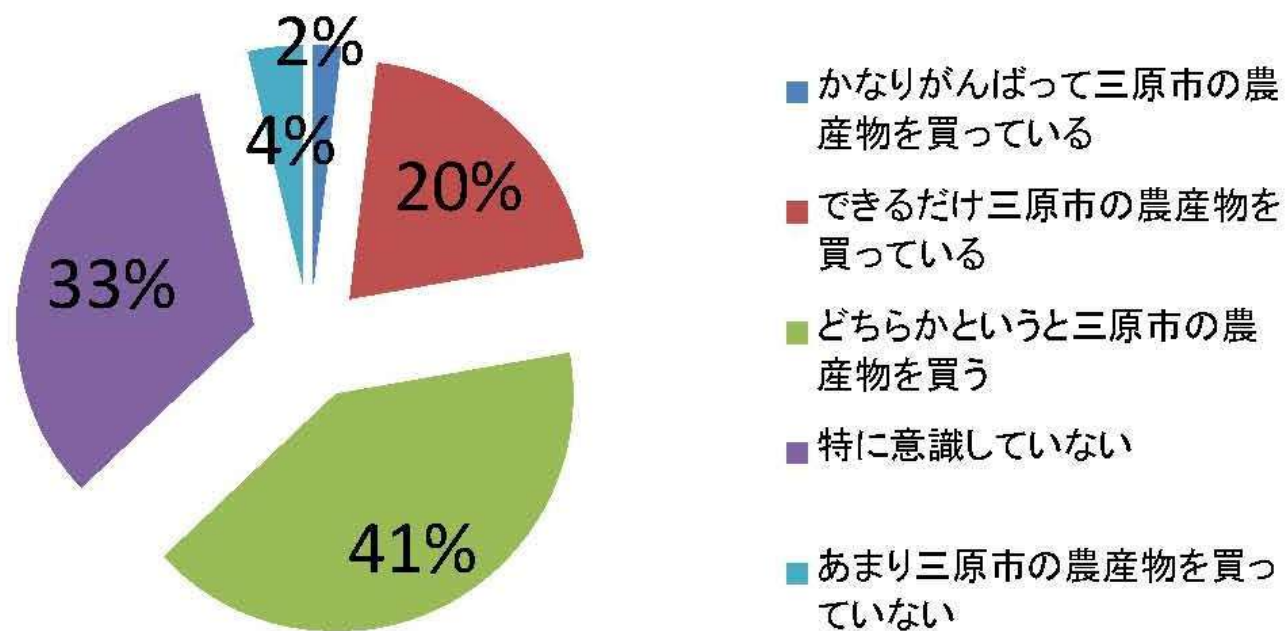
ビジョンから行動計画への
落とし込み

- 長期的な目標

有機農家の収穫祭(10/29)で、会として目指すビジョンを発信できると良いのかなと思いました

(8) 例えば・・・

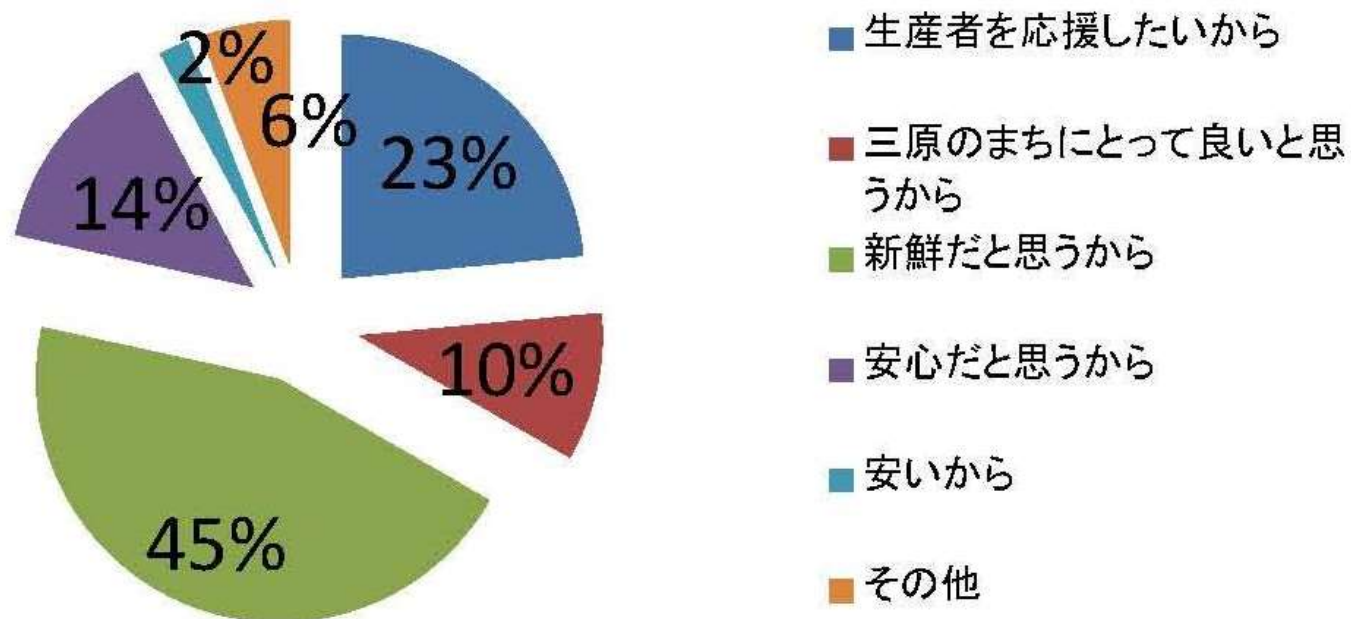
1. あなたは三原市内でつくられた農産物を買っていますか？



2014年10月に安藤がSNSでアンケート調査

(8) 例えば・・・

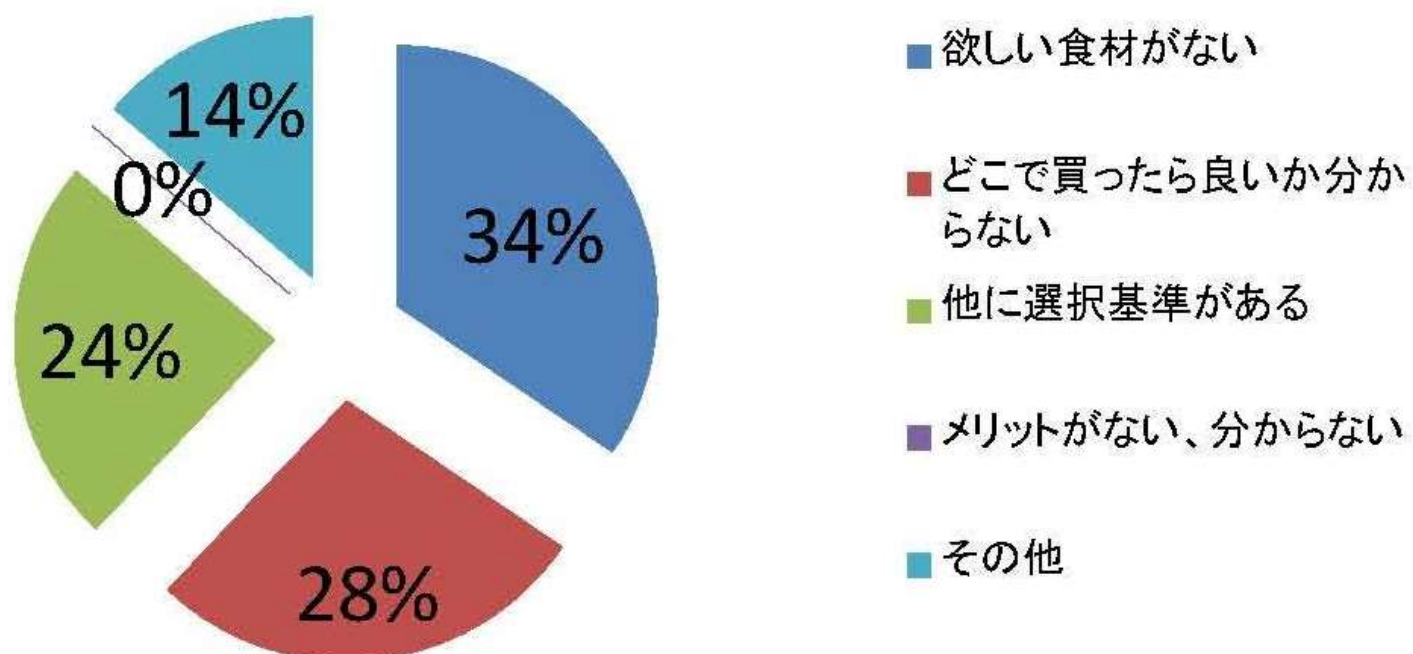
2. 三原市内でつくられた農産物を買う理由は何ですか？



2014年10月に安藤がSNSでアンケート調査

(8) 例えば・・・

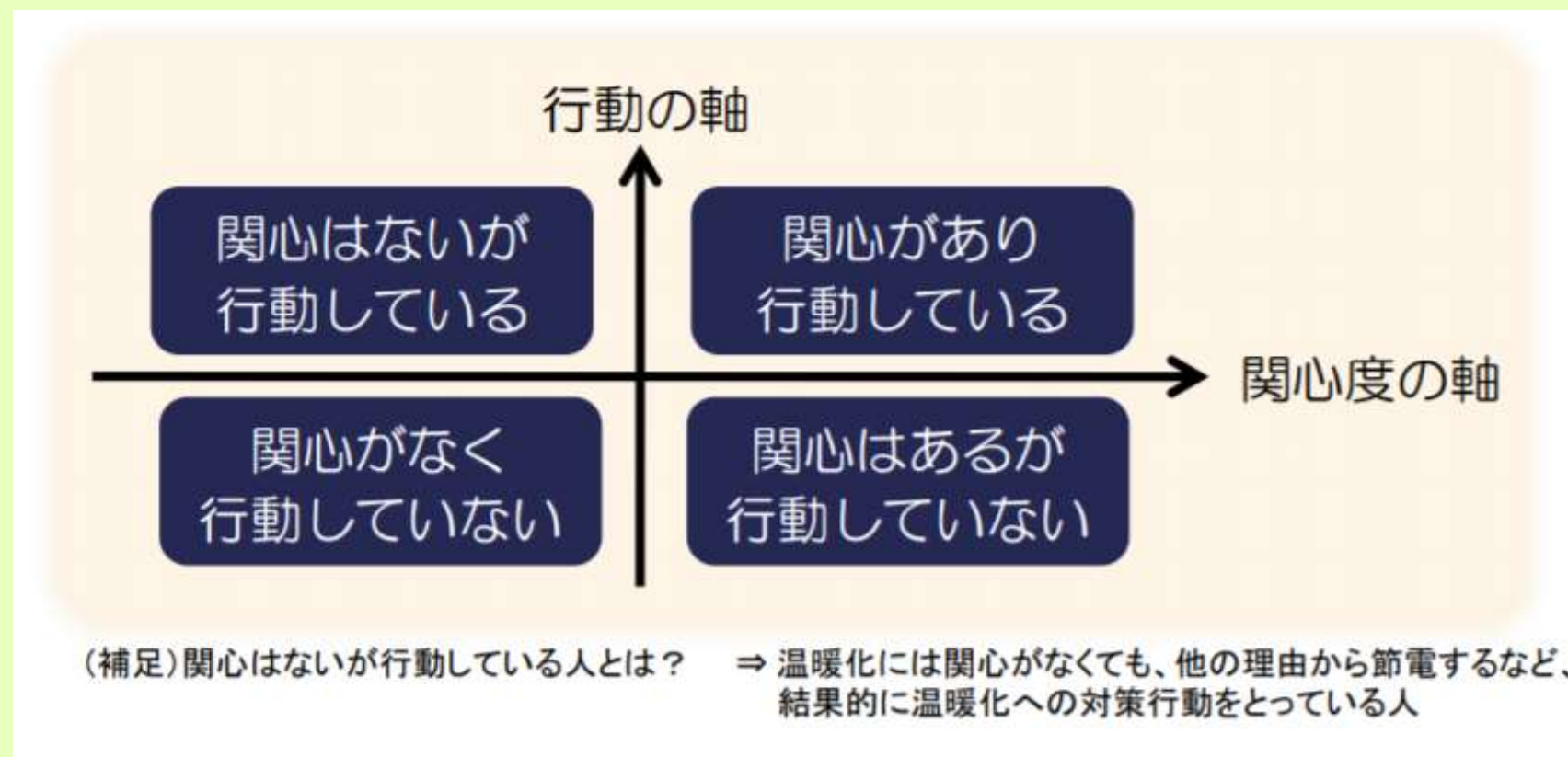
3. 三原市内でつくられた農産物を買わない理由は？



2014年10月に安藤がSNSでアンケート調査

(8) 例えば・・・

調査によって、対象者の意識と行動を把握、分類

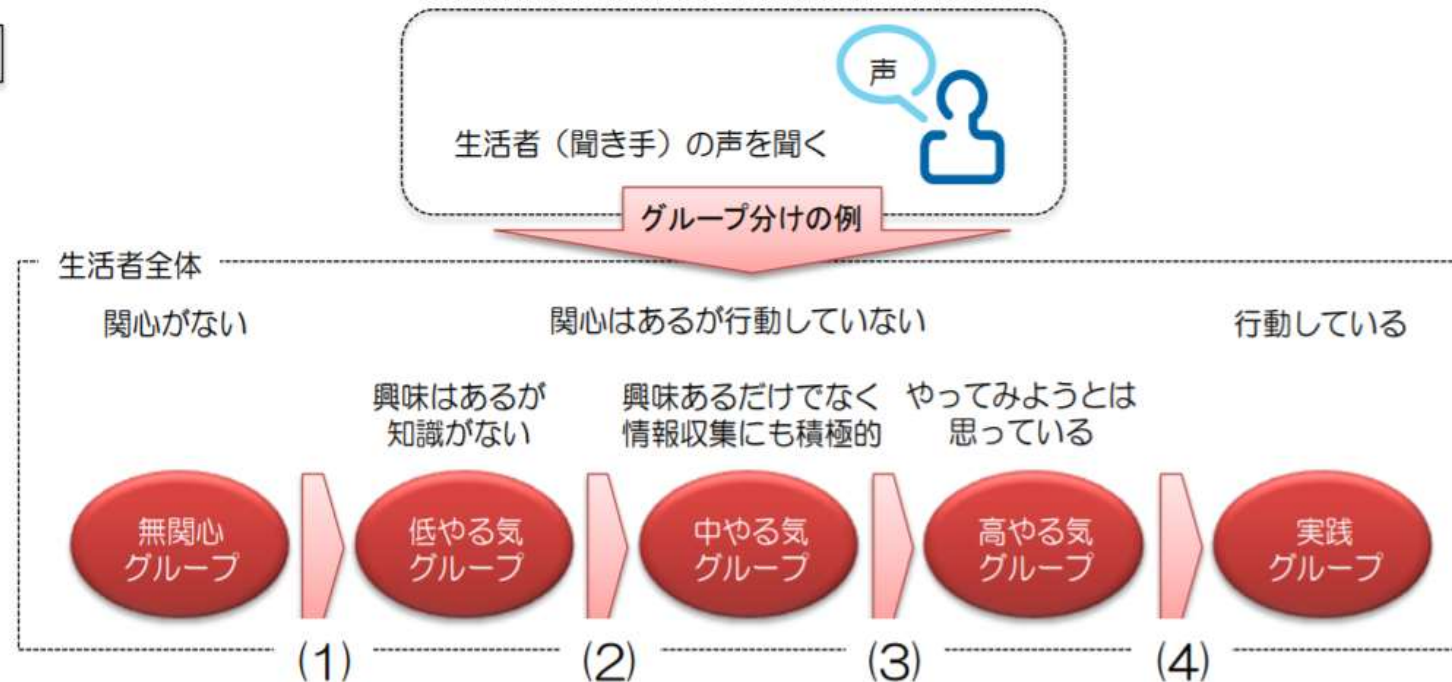


地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ 伝え手のためのワークショップ より

(9) 例えば・・・

それぞれのセグメントにより、働きかける内容・方法が異なる

ステップ1



ステップ2

対象者	無関心グループ	低やる気グループ	中やる気グループ	高やる気グループ
目標	関心を持ってもらう	積極的に情報に接してもらう	やってみようと思ってもらう	実践してもらう

地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ 伝え手のためのワークショップ より

(9) おまけ・・・

- 相手が自分の意見に賛成でない時の対応シート

(紙での配布のみとさせていただきます)

感想①今後の活動選択肢

- 有機農家の収穫祭で、アンケートしてみたい
- 有機農家の収穫祭は「楽しいから来て」と気軽に誘えそう

一緒に考えたり、勉強したり

- 本当に体に良いこと(もの)、悪いこと(もの)
- 子育てママが企画する子育てママのための栄養講座
- 体に良いものを手軽に準備して食べたい！
- 砂糖を使わないお料理
- 出汁の違いや、調味料の違いを、味比べで体験
- 食に対する考えが違う人と、どう認め合っていくか

長期的に

- 「安全なお惣菜」ビジネスに！！！！

感想②伝えたい思い

- 自分の健康を損ねて、食の大切さに気が付いた
- 子どもの痙攣発作。病院に行っても治療法なし→民間療法を勉強。アメリカの研究で、痙攣発作に影響を与える食品を知って改善
- 病院10か所行ったけれど、食生活の問題は誰からも教えてもらえなかった。
- アトピーなどアレルギーの対応、対策も、食生活との関連、知ってるかどうか
- 完璧にはできなくても、少しずつ良い選択をしたい
- 昔の野菜より味が薄くなった
- 三原に引っ越してきて、野菜の味が濃いし美味しい
- 対面販売で、生産者さんの思いを伝えたい！（駅前広場で、第1土曜、第2土曜の午前中に無農薬の野菜販売）
- 思いが伝わって、口コミで広がったら嬉しい
- 「あそこの野菜を食べたい」「あそこの野菜なら子どもが食べる」
- アレルギーでナスを食べられなかった人に無農薬のナスを提供。5年ぶりに食べられた！
- 無農薬野菜の販売「ほうれん草を食べない子だったのに、食べた！」
- 今の積み重ねが未来
- 不妊で悲しい思いをしてほしくない

感想③その他

- アンケートで「どちらかと言えば三原産を選びたい」という人が結構いて嬉しい
- 活動の助成金がもらえるところがある？
- 自校式給食の良さ！
- 昔の給食に比べたら良い
- つい「こうしてほしい！」思いが強くなる

ご清聴 ありがとうございます！

広島県環境保全アドバイザー
広島県地球温暖化防止活動推進員
三原市議会議員(是々非々の会)

安藤志保